

【10-3-3】 主要科目の特長（商学部商学科）

商学科の教育課程（カリキュラム）を構成する各科目群・分野の内容は次のとおりです。

(1) NGU 教養スタンダード科目

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説」「キリスト教学」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」についてを理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～3b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

社会的教養に関する科目

＜人間理解＞、＜社会理解＞、＜自然理解＞、＜歴史文化理解＞、＜環境理解＞、＜身体理解＞（＜身体理解＞）、＜地域理解＞

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには専門の学修だけでなく、一般教養の修得が欠かせません。文学、哲学、心理学を学ぶ＜人間理解＞、社会のしくみを考える＜社会理解＞、自然をさまざまな角度からながめる＜自然理解＞、人間や世界の文化や歴史を学ぶ＜歴史文化理解＞、地球環境や生態系について考察する＜環境理解＞、スポーツの実技と理論、健康について学ぶ＜身体理解＞（＜身体理解＞）、まちづくりを多様な視点から考える＜地域理解＞の中から、バランスのよい履修を心がけてください。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」の6カ国語を学ぶことができます（リハビリテーション学部、スポーツ健康学部は英語科目のみ）。また、「手話」や「日本語表現上級」も学修することができます。

情報理解に関する科目

情報教育の充実は、本学の大きな特色です。全学生にノートパソコンを配付し、すべての学生がコンピュータを使って学べるように指導しています。必修科目の「情報処理基礎」では、コンピュータやネットワークの基本的な利用方法を半年間でマスターします。

教職に関する科目

ここに設置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

(2) 専門科目

①<<学部共通科目>>

学部共通科目には、商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」を配置しています。いずれも必修科目であり、商学の基礎を学修します。

②<<学科選択科目>>

<<基礎科目（コース別）>><<展開科目>><<実践の視点>><<専門能力開発プログラム>><<関連科目>>および<<ビジネス外国語>>から構成されています。

- a) <<基礎科目（コース別）>>に関し、ビジネスマネジメントコースでは、経営戦略、マーケティング、流通、金融、会計に関する<<専門科目>>を配置しています。スポーツマネジメントコースでは、「スポーツ経営管理学」「スポーツマーケティング」「スポーツ実技」などスポーツマネジメント、保健体育、スポーツ実技に関する<<専門科目>>を配置しています。
- b) <<展開科目>>には、「専門演習」（ゼミ）および商学の専門分野別（<商学・流通>、<経営>、<金融・財務>、<会計>および<スポーツ・マネジメント>）諸科目を配置しています。「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間（3・4年次）にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学生は、「専門演習」（ゼミ）における学修・研究の成果を発表するために卒業論文を作成・提出します。
- c) <<実践の視点>>の諸科目では、企業の経営管理者の講義など、実際に企業でどのような業務が行われているかなどを学修します。

- d) ≪専門能力開発プログラム≫には、会計、マネジメント、マーケティング、語学に関する専門講座を配置しており、各自の進路に応じて履修します。
- e) ≪関連科目≫は、商学に関連する科目から構成され、各自の進路、学修上の関心に応じて履修します。
- f) ≪ビジネス外国語≫には、ビジネス英語、ビジネス中国語およびビジネス韓国語を学修する科目が配置されています。

(3) 演習科目

①「基礎セミナー」

1年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

②「専門演習」

「専門演習」（ゼミ）は、3・4年次の2年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

◎専門科目の一部をピックアップ

リテールマーケティング

繁盛しているスーパーマーケットには、消費者を「その気」にさせる工夫が施されています。どのような店舗設計や売り場づくり、接客行動を行えば、消費者を引きつけられるのか。実際の小売店を題材に取り上げて考察します。

スポーツ経営管理学

スポーツのチームは、特定の目標に向けて複数のメンバーが協働する組織と言えます。組織であるからには運営や管理といったマネジメントが必要になります。本講義ではスポーツ組織における経営管理を学び、合理的に成果をあげるための方法を考えます。

会計学入門

会計には主に、企業の決算者に関わる「財務会計」、会計報告の評価を行う「監査」、経営戦略を会計から考える「管理会計」、日常業務を記録する「簿記」があります。本講義では会計学全体を体系的に学び、そのあとの専門的な学修に結びつけます。